



終戦記念日街宣、マイクを握る小日向会長（中央）＝2022年8月15日 新潟駅前



「不屈」No.579付録
新潟県版 No.315

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
新潟県本部

〒950-0843 新潟市
東区粟山3-8-1
小日向 昭一 気付

TEL 090-2972-9678

不戦の誓いを新たにしよう

8月15日 終戦記念日 街宣 参加者 60人 新潟駅前

8月15日、新潟駅前で市民アクション主催の終戦記念日街宣があり、約60人が参加しました。最初にマイクを握ったのは、治安維持法国賠同盟会長・小日向昭一氏で「1945年の今日、天皇制政府は、ポツダム宣言を受諾して連合国に降伏。この15年戦争では国内310万人以上、アジアで2000万人以上の犠牲者を出しました。この反省から戦後、現在の憲法

が作られました。この憲法は戦争はしない。そのための軍隊は持たないという理想的な憲法で、戦後77年間、私たちはしっかりと守ってきました。ところが7月の参院選では、9条改憲をたくらむ勢力が多数を占め、政府・自民党は改憲議論の推進を表明。今こそ侵略戦争の過ちを繰返さないよう憲法を守り、生かし、不戦の誓いを新たにしましょう」(要旨)と訴えました。

核兵器廃絶こそが、人類の存続を可能とする

次に赤井純治県原水協代表は、次のように訴えました。

「広島と長崎に原爆が投下され、次は新潟が原爆投下の目標らしいと情報をつかんだ新潟県知事は、新潟市民に緊急疎開(田舎に逃げる)命令を出しました。そのため当時の新潟市は空っぽになったという事です。

いまロシアのウクライナ侵攻戦争では、プーチンが核兵器の使用もありうると言い、実際、核兵

器の使用の危険性が今もあります。もし核兵器が使われたら、人類の滅亡に繋がりがかねません。いま、一人の独裁者・最後の理性的判断ができるかどうか分からない人物に、人類全体の運命が握られています。核抑止力論で核使用は防げるというのは、神話であることがはっきりしました。核兵器の完全廃絶こそが、人類を救う道であることが、はっきりしました。核兵器の完全廃絶を進めよう」(要旨)

主な記事

- 不戦の誓いを新たにしよう 8月15日 参加者60人 新潟駅前 1
- 国葬に反対、9条を守り、「核のない世界」の実現を 県理事会 2〜4
- 絵手紙、俳句 短歌 私と治安維持法国賠同盟 柄澤 武美 4

安倍元首相の国葬に反対、9条を守り、「核のない世界」の実現を

2022年9月5日
 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟新潟県本部 理事会

【1】8月の行事・活動報告・総括

- ① 8月3日(水) 北プロ会 長・事務局長会議
- ② 8月4日(木) 四役会
- ③ 8月5日(金) 会計監査
- ④ 8月6日(土) 平和の波 行動
- ⑤ 8月6日(土) 魚沼支部 ワタナベ・コウ講演会
- ⑥ 8月7日(日) 上越支部 ワタナベ・コウ講演会
- ⑦ 8月9日(火) 県理事会
- ⑧ 8月15日(月) 市民アク ショーン終戦記念日街宣
- ⑨ 8月18日(木) 同盟新潟支部 理事会
- ⑩ 8月18日(木) 犠牲者名簿 検討委員会
- ⑪ 8月18日(木) 国葬反対集 於：新潟駅前
- ⑫ 8月23日(火) 憲法センター 幹事会
- ⑬ 8月24日(水) 市民アク ショーン運営委員会
- ⑭ 8月28日(日) 上越支部 理事会

- ⑮ 8月31日(水) 阿賀野支部会
- ⑯ 8月の会員増は6人、減は5人で、実質1名の増だった。国賠署名増は20筆(阿賀野支部)だった。

【2】情勢の特徴と同盟の立場

(1) NPT再検討会議の結果について

第10回NPT再検討会議はロシアの反対で最終文書採択できずに8月26日閉幕した。会議では「核抑止力」論に固執する核保有5大国の姿勢も改めて露わになり、「核兵器のない世界」を求め「核のない世界」を求め論や非核兵器国との協力が展

支部	お名前
阿賀野	須田 一彦さん
"	須田 明子さん
上越	相川 郁子さん
"	関沢 達夫さん
"	渡辺 幹衛さん
新潟	萩野 直路さん

開された。この会議で演説した岸田首相は、NPT第6条にも核兵器禁止条約にもふれることなく、「核保有国と非保有国の橋渡し」の役割など全く発揮することができなかった。

一方、会議では圧倒的な国ぐにが、第6条にもとづき核兵器国の「核兵器の全廃」への明確な約束の再確認を求め、また核兵器禁止条約の意義を強調するなど、世界の主流がどこにあるかを鮮明に示すものとなった。日本が一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准することを求める草の根からの運動をさらに力強く発展させよう。

2022年 8月末の到達

支部	会員人数	8月の会員増	8月の会員減	誌友人数	国賠署名数					
					昨年の国		今年5月1		今年5月	
					個人	団体	個人	団体	個人	団体
新潟	119	1	3	2	1,017	10	659	2	50	
長岡	32				1,177	12	170			
上越	40	3			10		208		20	
阿賀野	14	2			42		131		20	
新発田	8						10			
五泉	6				10		26			
黒埼	7			1	25	15	33	7		
豊栄	12				9	1				
新津	21			1	7	1				
三条	6		2		59	3	31			
小千谷	10				223	2	260			
柏崎	5						10			
魚沼	13				78		63			
佐渡	4				50		20	2	10	
点在	10						17			
県本部							11		10	
県合計	307	6	5	4	2,625	44	1,649	11	110	

(2) 統一協会追及、「国葬」反対のたたかい

統一協会問題と「国葬」をめぐって国民的な怒りが急速に広がり、「政権危機」ともいえるべき事態が生まれている。統一協会問題では、霊感商法、集団結婚など反社会的カルト集団と自民党の癒着という側面とともに、統一協会と表裏一体の組織・国際勝共連合が反共・反動の最悪の尖兵としての役割を果たしている問題が重視しなければならぬ。この集団は、80年代以降、現代版「治安維持法」と言われる「国家機密法案」スパイ防止法」の制定を自民党と連携して運動を展開し、改憲運動でも自民党の改憲案と瓜二つの内容を掲げて策動している。ジェンダー平等への攻撃も同様である。国民的批判の世論を広げ、自民党と統一協会が一体となつて進めてきた改憲策動を打ち破ろう。

(3) 大軍拡と原発推進の阻止を

岸田政権は、来年度予算編成で6兆円台半ばにのぼる軍事費の計上をめざし、他国のミサイ

ル発射拠点などを直接たたく「敵基地攻撃」能力の保有が企てられている。日本の平和も国民の暮らしも根底から脅かす前代未聞の大軍拡計画は絶対に許せない。一方、岸田首相は8月24日、原発問題の「実行会議」に、これまで再稼働した10基に加え、柏崎刈羽原発6、7号機など7基を追加することについて年内に結論を出すよう求め、「次世代型原発」の開発と称して原発の新設や原発の運転期間延長を検討するよう指示した。最悪の政権としての姿を露わにする岸田政権と対決し、大軍拡と原発推進を阻止しよう。

【3】9月・10月の行事・活動計画

- ① 9月2日(金) 魚沼支部、映画「千代子」上映実行委員会・試写会
- ② 9月4日(日) 県革新懇講演会
- ③ 9月5日(月) 県理事会
- ④ 9月6日(火) 69行動 於：古町十字路
- ⑤ 9月11日(日) 上越支部の映画「千代子」上映実行委員会

⑥ 9月13日(火) 憲法センター幹事会

⑦ 9月13日(火) 市民アクション運営委員会

⑧ 9月15日(木) 国賠同盟新潟支部理事会

⑨ 9月19日(月・祝) 渡辺治講演会

⑩ 9月25日(日) ピースフェスタin古町

⑪ 10月4日(火) 5日(水) 北陸信越ブロック交流会

⑫ 10月8日(土) 魚沼支部、映画「千代子」上映会

【4】第40回県本部大会の開催について

日時 2022年12月10日(土) 10時～15時
会場 CP県委員会会館

【5】9条改憲許さない運動

改憲反対署名などにしっかり取り組む

【6】会員・署名拡大について、9月の目標

- ① 会員 純増6人
- ② 国賠署名増 200筆
- ③ 「県本部大会成功をめざす同

盟建設特別期間」を設定する。11月1日～30日 質と量の充実、楽しく元気が出る支部活動の探求。

【7】支部の再建・強化
長岡支部：映画「千代子」上映に向けて体制強化に努力中。

【8】「治安維持法犠牲者名簿」の発刊にむけて
現在、原稿の完成に向けて作業中。印刷会社へ見積書要請などの議論を推進中。募金目標の確定に向けて推進中。

【9】映画「千代子」上映運動
① 魚沼支部の上映予定：10月8日(土)

② 上越支部の上映予定：11月3日(木・祝)

③ 前記以外の場所でも上映の可能性を追求中。

【10】木崎争議を語り継ぐとりにくみ・100周年

- ① これまで県本部大会で講演会、史跡めぐりツアーを行い、上越支部で講演会を行った。
- ② さらに新潟支部、同市内の小さ

な美術館・季、阿賀北、新津などでの開催を模索中。

【11】「原菊枝顕彰碑」 建立運動

①「建立地」がほぼ確定。碑石の見積依頼済み。

②「実行委員会」の設立を目指し、募金活動・募金目標・呼びかけ団体・個人の選定と案内について検討中。

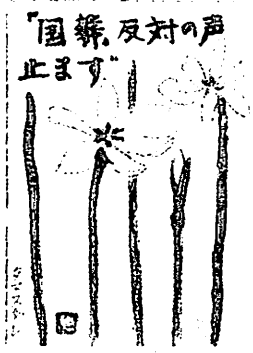
【12】その他

①「北陸信越ブロック交流会」：10月4日・5日(火・水)、場所：福井県あわら市。

②次回原理事會：10月7日(金) 13時30分

絵手紙

笠原 順子(新津)



高橋 シズ(新潟)



俳句

町田 綾子(上越)

此の頃の在所は稲の花ならむ

今頃は施設のあねも盆の月

このころは涙もろくて生身魂

短歌

亀山 和子(新潟・西蒲区)

父母を亡くしたウクライナの幼子の

泣き声聞こゆ瓦礫の中に

ウクライナ危機に乗じて核共有

「反撃能力」狙う政権

福島を忘れまじたか原発の

再稼働を言う新設までも

コロナまた統一協会国葬と

問題とそこに改憲加速

私と治安維持法国賠償同盟

2022年9月9日

阿賀野支部事務局長 柄澤 武美

私の社会運動との関わりは高校時代に遡ります。

高校一年のときに、同級生から光文社のカッパブックス『三光…日本人の中国における戦争犯罪の告白』という本を借りて読んだのがきっかけです。三光とは、殺し尽くし、焼き尽くし、奪い尽くす、を意味する三光作戦のことで、日本軍が中国で行った残虐非道な作戦に従事した兵士の手記をまとめたものです。

本を貸してくれた友人は、その時に、そのような戦争に反対した日本人がいたことを教えてくれました。とても救われた思いがしたものです。私が日本の近現代史、とりわけ侵略戦争や植民地支配の加害の歴史に関心を持つようになった

民の手に七十五年守りし

平和憲法今こそ世界へ

たのはその時からです。

歴史認識の問題は、日本という国はどうあるべきか、そのあり方の根本にかかわる問題だと思えます。歴史を自分たちの都合の良いように偽造したり、修正したりすべきではありません。歴史認識を正す活動が必要です。

治安維持法国賠償同盟は、「反戦・平和と国民主権のための闘いの歴史の真実を伝えていく活動」を活動の柱の一つに据えている団体です。

命を賭して侵略戦争に反対した先輩たちの意思を受け継ぎつつ、これからも治安維持法国賠償同盟の活動に関わって行きたいと思っています。